

単機関研究用

研究課題名：当院における急性陰嚢症診療の実態調査

1. 研究の対象

2010 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの期間に、急性陰嚢症（きゅうせいいのうしょう）として当院を受診した 0 歳以上 30 歳未満の男性

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

「急性陰嚢症」とは、陰嚢部の急な痛みを主な症状とする病気の総称です。急性陰嚢症をきたす病気には精巣捻転症（せいそうねんてんしょう）・精巣付属器捻転症（せいそうふぞくきねんてんしょう）・精巣上体炎（せいそうじょうたいえん）・精巣炎（せいそうえん）などがあります。そのうち、精巣に血液を送る血管が突然ねじれて発症する「精巣捻転症」は、精巣が腐らないようにするために、痛みを感じた後できるだけ早くにねじれを戻す処置が必要となります。

泌尿器科医にとっては“精巣捻転症は緊急手術が必要となる病気である”との認識は共有されていますが、最初に診療にあたる医師がかならずしも泌尿器科医であるとは限りません。本研究では、当院の急性陰嚢症に関わる診療の実態を調べることで、主に精巣捻転症の迅速かつ適切な診断・治療のために取り組むべき課題を明らかにしたいと考えています。

本研究は、当院において上記 1. に当てはまる患者さんの診療情報を取得し、情報を集積し解析を行う予定です。

・研究期間 研究実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者さんのカルテ ID（情報管理に使用）

初診時年齢、初診日、受診契機（主訴）、受診契機となった症状の発生状況、受診契機となる症状発症から初診までの時間、本人・両親・養育者いずれかの精巣捻転症に対する知識の有無

初診した施設、初診施設の緊急手術受け入れ可否状況およびその理由、初診した診療科（first touch 診療科）、治療を行った施設、治療を行った診療科

初診から治療に至るまでに施行された診察・検査内容、TWIST スコア、LIM スコア、BAL スコア、治療内容（特に、徒手整復施行の有無、手術の有無（手術有の場合、発症から執刀開始・初診から執刀開始までに要した時間））、温存した精巣の予後、最終診断名（手術有の場合、術前術後で診断名が変化したか）

試料：本研究では試料は使いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住 所：〒849-8501

佐賀県佐賀市鍋島 5 丁目 1 番 1 号

佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科

担 当 者：泌尿器科・准教授・東武 昇平

電話番号：0952-34-2344

《研究責任者》

佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科 教授 野口 満

【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別できないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より 2026 年 3 月 31 日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページで掲載しているものです。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHP では、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。